

2020 年度実施概要

学校名

大牟田市立天の原小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海に親しむ 「海や川の生き物のために」	3 年	総合的な学習の時間
2. 海を知る・守る 「海や川の環境のために」	4 年	総合的な学習の時間
3. 海を守る・活用する 「森と私たちのために」	5 年	総合的な学習の時間
4. 海を守る・活用する 「自然と私たちの未来のために」	6 年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

関連するSDGsの目標13・14・15を核とし、近隣4小学校と連携・協働し、総合的な学習の時間及び社会科を重点として海洋教育を推進している。総合的な学習の時間(3～6年)において、年間25時間を「海・川・山の時間」と設定し、海洋教育の四つの視点「海に親しむ・海を知る・海を守る・海を活用する」を系統的に仕組んだ活動計画を作成し、実施している。

【3年生】

- 有明海の干潟や諏訪川の支流である野間川に生息する生き物の調査・観察を通して、海や川の自然に体験的に親しむ。また、学んだことをまとめ、隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、海や川の生物多様性について考える。



【4年生】

- 有明海に流れる諏訪川の支流(鳴川・野間川)のゴミの様子や水質について調べ、調査結果を隣接学校と交流することを通して、ゴミや生活排水から海や川を守ろうとする。また、学んだことをまとめ、隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、川や海の環境保全について考える。



【5年生】

- 川や海とのつながりが深い、山の役割や恩恵について農業や林業の視点から調べ、調査結果を隣接学校と交流することを通して、山や川・海からの恩恵を活用しながらもそれらを守る取組のよさを実感し、広めようとする。隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、恩恵・産業と私たちの生活との結びつきについて考える。



【6年生】

- 前学年までに学習してきた海洋教育の内容を総合し、「山や海などの自然の利用」「人と自然との共生」について各関係機関の協力を得ながら調べる。また、調査結果を隣接学校と交流したり、隣接学校や校内、地域へ発信したりすることを通して、持続可能な地域づくりのために私たちにできることについて考える。

